

街道・町並

東海道

中ノ町地区、和田地区、蒲地区を東西に貫き、古くから往来する旅人で賑わっていました。和田地区に当時を偲ばせる松並木が残り、当時の街道の面影があります。また脇往還である姫街道(本坂通)や笠井街道、秋葉街道にも繋がっており、古い道標が残っています。



⑩蒲神明宮の一の鳥居(植松町)



⑪松並木(葉新町ほか)



⑫煙火大会(中野町)※フォトコンテスト入賞作品



⑬六所神社(中野町)

東海道沿いにはこんな場所もあります。

円通寺、子安神社(子安町)、小宮公園、いぼ神様(長久寺)、光禅寺、法橋の松、六所神社(天龍川町)、長伝寺、八柱神社(和田町)、妙恩寺、小枝桑次郎の碑、八柱神社(薬師町)、勝示杭、明治天皇玉座跡・船橋之記の碑、天竜川の船橋跡・木橋跡、松林寺、天竜川橋紀功碑、中ノ町道路元標

秋葉街道

積志地区内を南北に横断し、火伏せの神として信仰を集める秋葉山へ参詣する道「秋葉路」として多くの巡礼者が往来しました。街道沿いには多くの常夜灯が残り、信仰の深さが伺えます。

秋葉街道沿いにはこんな場所もあります。

江原主従地藏、西国三十三所巡禮供養塔、龍泉寺、藏泉院正覚坊大権現、太白神社



⑭有玉神社(有玉南町)



⑮甘露寺(中郡町)



⑯西伝寺(積志町)



秋葉山常夜灯(有玉南町ほか)

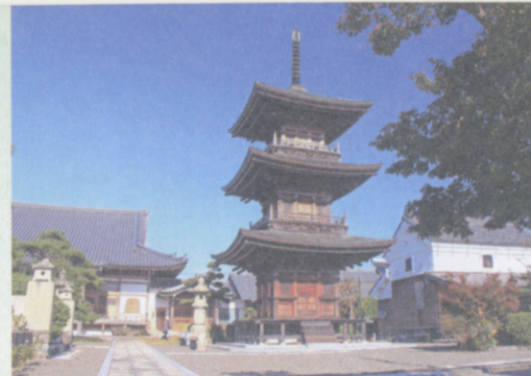
笠井街道

蒲地区、長上地区、笠井地区を南北に結び、古くは浜松宿と二俣までを往還していました。江戸時代から、笠井村で開かれる「笠井の市」に街道を通り多くの人々が集い、笠井は流通の拠点として賑わっていました。

笠井街道沿いにはこんな場所もあります。
多田足穀碑、遺州報国隊記念碑、竹山平左衛門と鷹宿梅、焼堂跡、風船落下の碑、法永寺



⑰宝珠寺(上新屋町)



⑱宗安寺(市野町)※フォトコンテスト入賞作品



⑲春日神社(笠井町)

姫街道(本坂通)

東海道を起点とし、現在の和田地区、長上地区、積志地区を通っています。古くから「本坂通」として人々の往来があり、江戸時代に東海道の脇往還として整備され「市野宿」が置かれていました。姫街道と呼ばれる理由については諸説があります。



⑳宝篋印塔(市野町)



㉑普傳院(安新町)



㉒市野宿(市野町)



㉓立体交差(安新町)※フォトコンテスト入賞作品

姫街道沿いにはこんな場所もあります。

げんべいの石神様、芭蕉の句碑、安養寺、長福寺、小池一里塚、大養禪院、半僧坊里程石、最古の道標、永心寺、小池神社、秋葉常夜灯、五枚橋跡、欠下城跡、俊光霊社跡、有玉緑地、了願公園、大蔵神社、松之浦神社、全岩寺、法傳寺、八幡宮、安間一里塚